

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	908 消防団管理運営事業					
予算科目	01-090102-11 非常備消防運営に要する経費			担当部課	消防本部地域消防課	
市長公約				係名	消防団係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	消防組織法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	消防団員
目的	消防団の円滑な運営を図り、市民の安全・安心に寄与する。
概要 (取組内容)	消防団員の名簿管理、福祉共済、報酬、出動手当等の事務を実施する。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	150,915	146,252	147,505	154,484	154,484	
	決算額	(千円)	137,946	88,636	124,057	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	112,654	71,761	100,342	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	25,292	16,875	23,715	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,602	5,222	6,570	10,656	10,656	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.20	0.70	0.90	1.50	1.50
		正職員時間外勤務	(時間)	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	消防団員数 ( 人 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0
	実績	1,049.0	1,021.0	998.0	961.0	0.0	0.0
指標の概要	6支団（女性分団含む）						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新入団員募集のポスター及びパンフレットを全分団に配布し、各分団で募集活動を実施した。	
成果	新入団員17名の入団があった。 全国的にも消防団員の減少傾向が続いているため、総務省消防庁から消防団員の処遇改善が示され、令和5年度から出動報酬額の引上げや費用弁償の支給を実施するため、令和4年12月議会で条例改正を行った。	
課題	業務	入団者を募集し団員確保に努めているが、近年の社会情勢の変化に伴い減少している。
	組織、予算等	特になし
改善目標	団員が減少しているため、引き続き啓発活動を行うが、新たに市広報紙及び区会回覧、その他ホームページで新入団員募集の広報活動を行う。	

### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

### 方向性

方向性	継続
理由	

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	909 消防技術向上事業（各種訓練・操法大会）					
予算科目	01-090102-11 非常備消防運営に要する経費			担当部課	消防本部地域消防課	
市長公約				係名	消防団係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	消防組織法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	消防団員
目的	団員としての基礎知識の習得と、災害活動時の対応が迅速かつ安全で正確な動作ができるように各種訓練を計画し、士気向上を図る。
概要 (取組内容)	新分団長及び3年未満団員訓練(本部役員の指導)、幹部訓練(本部役員及び消防署員の指導)、消防ポンプ操法競技大会(各支団が訓練を実施し、県南北部地区ポンプ操法競技大会に参加)、秋季点検(各分団詰所及び機械器具の点検等)を実施する。また、普通救命講習についても受講し活動の場を広げる。消防団出初式では、永年勤続者等に感謝状の授与、消防団車両による観閲式を実施する。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	16,041	15,533	16,580	13,822	13,822	
	決算額	(千円)	229	1,649	2,441	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	229	1,649	2,441	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	12,788	6,683	8,033	11,438	11,438	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.70	0.80	1.00	1.50	1.50
		正職員時間外勤務	(時間)	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	訓練参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6,070.0	6,070.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0
	実績	5,470.0	379.0	578.0	902.0	0.0	0.0
指標の概要	新分団長及び3年未満団員訓練、幹部訓練、秋季点検、出初式						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、消防ポンプ操法大会及び訓練や普通救命講習は中止となったが、新分団長及び3年未満団員訓練、幹部訓練、秋季点検、出初式は感染対策を講じて実施した。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	910 自衛消防団運営補助事業					
予算科目	01-090102-11 非常備消防運営に要する経費			担当部課	消防本部地域消防課	
市長公約				係名	消防団係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	自衛消防団
目的	自衛消防団に対し、消防機器の点検整備、放水訓練、防災知識の普及・啓発等を実施し、有事の際は適切な災害活動にあたるができるようにするため。
概要 (取組内容)	自分たちの地域は自分たちで守るという理念に基づいて、自治会等で組織された自衛消防団の運営と活動に対し、つくば市自衛消防団運営補助金交付要綱の定めるところにより、予算の範囲内で補助金を交付し、地域住民が安心して生活できる防火意識の高揚に寄与する。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	648	540	540	540	540	
	決算額	(千円)	468	432	432	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	468	432	432	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,360	684	2,043	3,405	3,405	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.10	0.30	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	自衛消防団補助金交付団体数 ( 団体 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績	15.0	13.0	12.0	12.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	自衛消防団登録団体（15団体）に周知し、12団体から補助金交付申請書が提出された。申請のあった団体には実績報告者に基づき自衛消防団運営補助金を交付し、自衛消防団の充実・強化を図る。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	911 消防水利整備事業					
予算科目	01-090103-13 非常備消防施設に要する経費			担当部課	消防本部地域消防課	
市長公約				係名	施設係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	消防法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	消防職員、消防団員等
目的	消火活動に必要な消防水利の充実を図る。
概要 (取組内容)	火災消火時に必要な消火栓及び耐震性貯水槽の新設工事及び既存施設の維持管理を行う。 既存消火栓 2,557基、既存防火水槽 2,016基（令和5年4月1日現在）

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	84,622	78,691	67,767	77,495	77,495	
	決算額	(千円)	54,470	20,061	48,055	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	43,970	10,261	48,055	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	10,500	9,800	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,800	2,734	6,810	6,810	6,810	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	0.40	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	耐震性貯水槽新設数 ( 基 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0
	実績	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	老朽化した防火水槽について、修繕を行った。	
成果	耐震性貯水槽の新設工事については、開放型の防火水槽を撤去して新設する予定だったが、既存の防火水槽は140立米と大きいことから、蓋かけと修繕を行い継続して使用することとした。消火栓については34基を新設した。また、防火水槽の修繕3基、消火栓の修繕12基を行ったことにより、災害に強い消防水利の充実・強化が図られた。	
課題	業務	老朽化した防火水槽が増えているため、維持管理に伴う補修工事を継続して実施していく必要がある。土地の利用や所有者の変更により、撤去の要望が増加している。
	組織、予算等	耐震性貯水槽の新設には、国庫補助金（消防防災施設整備補助金）を活用していきたいが、防火水槽の新設1基の要望であると申請額が補助金交付基準額に満たないため、他課で同様の補助金を要望する際に一緒に申請を行っていく。
改善目標	消防水利の基準に基づき、耐震性貯水槽と消火栓をバランスよく配置し、現在の充足率の向上を図る。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—



# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	912 消防施設維持整備事業(車庫・詰所等)					
予算科目	01-090103-13 非常備消防施設に要する経費			担当部課	消防本部地域消防課	
市長公約				係名	施設係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務(任意)	
				事業体制	一部委託	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	消防団員
目的	地域の災害活動等を行う消防団車両の保管場所及び分団員の災害対策拠点となる詰所等の良好な施設環境を確保する。
概要 (取組内容)	経年劣化に伴い、老朽化の著しい車庫及び詰所の改築及び維持管理を行う。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	52,511	50,941	31,621	62,996	62,996	
	決算額	(千円)	40,970	40,864	23,451	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	16,870	18,364	23,451	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	24,100	22,500	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,440	2,050	3,405	3,405	3,405	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	0.30	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	消防車両車庫兼詰所建築数 (棟)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0
	実績	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	計画に基づいた車庫兼詰所の設計を実施することができた。	
成果	災害時に分団の拠点となる車庫兼詰所の修繕を1施設行い、良好な維持管理に繋がった。	
課題	業務	人件費や材料費の増加に伴い、建設費のコストが上昇傾向となっている。昭和56年以前の旧耐震基準で建てられたものが10棟以上あるため、年1棟ずつ計画的に更新を行う必要がある。
	組織、予算等	建設に係る人件費や材料費の増加が懸念される。
改善目標	なるべくコストを掛けずに建設を実施できるようにする。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	913 消防車両管理運営事業					
予算科目	01-090103-14 非常備消防車両に要する経費			担当部課	消防本部地域消防課	
市長公約				係名	施設係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路運送車両法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	消防団員
目的	市民の安全で安心なまちづくりを推進する。
概要 (取組内容)	消防ポンプ自動車の新規購入及び既存の消防自動車の維持管理を行う。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	46,704	47,485	46,967	50,206	50,206	
	決算額	(千円)	43,320	40,429	43,587	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	13,420	10,329	12,387	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	29,900	30,100	31,200	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,760	2,050	3,405	3,405	3,405	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.30	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	消防ポンプ自動車購入台数 ( 台 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	2.0	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0
指標の概要	消防団で使用する消防ポンプ自動車数						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	消防ポンプ自動車2台を、普通免許でも運転可能な3.5t未満の車両に更新することができた。	
成果	車両更新計画に基づき、消防ポンプ自動車2台の購入及び25台分の車両の車検を行ったことにより、消防団活動の充実強化を図ることができた。	
課題	業務	平成29年3月の道路交通法改正により、普通免許の車両重量制限(5t→3.5t)が変更になったことで、普通免許で運転できる車両に変更せざるを得ない。
	組織、予算等	25年以上経過した車両が17台あり、修理費用が増大している。
改善目標	普通免許保持者でも運転可能な3.5t未満の消防ポンプ自動車を計画的に配備していく。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	914 水防訓練(水害対策) 事業					
予算科目	01-090104-11 水防訓練に要する経費			担当部課	消防本部地域消防課	
市長公約				係名	消防団係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務(義務)	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	水防法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	消防団員
目的	水防活動において、消防団員が安全に迅速かつ的確な行動がとれるようにするため。
概要 (取組内容)	水防訓練への参加及び水防団体との連絡調整を行う。

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	3,575	2,857	3,081	2,676	2,676	
	決算額	(千円)	1,165	474	2,188	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,165	474	2,188	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,733	2,759	2,141	3,430	3,430	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.30	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	5.00	10.00	40.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	訓練参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績	80.0	0.0	0.0	110.0	0.0	0.0
指標の概要	利根川水系水防訓練、鬼怒・小貝水防連合体水防訓練						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	水防訓練実施時のDVDを各分団に配布し、水防工法についての技術習得を図った。	
成果	鬼怒・小貝水防訓練は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から過去2年間は中止となったが、今年度は、感染対策を徹底しながら訓練を実施した。また、今年度つくば市が開催当番市であったため、構成5市町と連絡、調整を行い連携して訓練を実施した。	
課題	業務	7月第1日曜日を実施日として訓練を実施してきたが、出水期に入ってしまうことや気温も上昇し熱中症の危険もあるため、訓練開催日を早めることも検討する必要がある。また、今後は近代工法も取入れた訓練も検討していく。
	組織、予算等	鬼怒・小貝水防訓練は、5市町の連合体で実施している訓練のため、実施日の変更には各市町の訓練日程等の調整が必要になる。近代工法の導入については、打合せ会議等で協議していく。
改善目標	次年度の水防訓練開催について、日程変更が可能であるか構成5市町にアンケートを実施した。また、アンケート結果を踏まえ次年度の当番自治体に訓練開催日の変更を要望する。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	